

令和8年8月9日執行

和歌山市長選挙

選挙公報

和歌山市選挙管理委員会

未来への責任 “今”ここから

注目と誘客の観光

将来を見据えて

- IT、AI、自動運転、DX、脱炭素社会への取り組み

食を守る

- 農水産業を支える担い手の育成
- 耕作放棄地の解消
- オーガニック推進

水を守る

- 上下水道の強靱化
- 防災対策

市民のしあわせ

- 安心できる子育て支援
- あたたかい福祉政策
- 安心・安全のための生活インフラ整備
- 賑わいと利便性向上の駅前整備

誠実な
市政の実現を
目指します!



市長候補



浜田
すしけん

浜田しんすけプロフィール

- 昭和36年9月3日 和歌山市生まれ
- 元衆議院議員 公設秘書
- 前和歌山市議会議員 (議会運営委員会委員長)
- 元和歌山県議会議員
- 昭和三十九年三月 日本大学経済学部 卒業

浜田 真輔公式サイト▶



たくそう
タビタ 卓宗

働く場所を倍増! 50万人都市を目指して

おもろい街にしよう! この街を!

発想の転換なくして活力は生まれない!

人口減少を食い止める! ではなく50万人都市を目指す!

チマチマ企業誘致ではなく働く場所倍増!

全国の政令市以外の市町村長に呼びかけ「産業地方分散法の制定」により、地方に産業を誘致し地方を蘇らせる。当然和歌山市も蘇る!

海上輸送の需要が高まる中、和歌山港を中心に陸海空の物流拠点都市としても発展させる。

南海フェリーは四国の各自治体及び奈良、三重県に呼びかけ、国道にし「海上国道」として発展的継続して第2国土軸にする!

車社会の和歌山市では車がなければ生活できない。

買い物難民、通院難民、外出難民解消の為、タクシーのようなミニバス(タクバス)を全市に網羅し300円で市内どこでもいける便利な街にする。

箱物行政サヨナラ! 老朽インフラ対策で市民の命を守る!

マリナシティの広大な空き地には「高野・熊野への夢ランド」巨大野外ステージ・キャンプ場・キャンプングカ―場・コテージ等設置し(全部無料!)聖地高野熊野へ夢をつなぐ基地にする!

僕の闘いが高齢者の方々に少しでも生きる勇気と元気を与えることができれば嬉しい!

弱い立場の人々や苦しみ、悲しんでいる人々に少しでも救いの手を差し伸べ生きる支えになれるなら嬉しい!

人生に挫折した人々に再び生きる力を少しでも与えることが出来れば嬉しい。僕も挫折者の1人だから!

そして衰え著しい和歌山市を復活することが出来ればホントに嬉しい!

4つの政策の柱

若者が活躍し、
未来をつくる和歌山市

- 若者の就職・起業・地域活動を支援
- しがらみゼロ・クリーンな市政
- 和歌山市役所のDX化で便利で開かれた行政
- 高卒人材が活躍できる環境づくり
- 関係人口の創出・二地域居住の推進

誰もが安心して
暮らせる和歌山市

- 高齢者の社会参加を応援
- 女性が住みたいと思えるまちづくり
- バリアフリー化の推進
- 防災減災対策の強化
- 安全安心な地域づくり
- 地域課題(移動難民問題、雑賀崎の野良犬問題など)の解決

魅力発信、
稼ぐ和歌山市

- 地場産業、中小企業への支援
- 和歌山ニットの魅力発信
- 農業水産業の販路拡大
- 布引大根・新生姜・わかしらす・加太の鯛など
- 和歌山ブランドを全国へ発信
- 食を生かした稼ぐ観光の推進
- 日本遺産の魅力発信
- 和歌山の平和で豊かな文化的景観を創造し、世界に発信
- 和歌山城・マリナシティ・和歌浦・雑賀崎・磯の浦・加太の魅力発信
- 滞在型観光による地域経済の活性化

クリーンな和歌山市

- しがらみゼロ・公正で透明な市政
- 市民共創のまちづくり
- 綺麗で清潔な街づくり
- 環境に優しい交通の推進
- 未来への投資を重視した財政運営



こうぜん
幸前そら
(25歳)

幸前そら
【略歴】

- 平成13年8月2日生まれ
- 和歌山市立岡山幼稚園
- 和歌山市立雄湊小学校
- 近畿大学附属和歌山高等学校
- NPOクリーン&コネクト和歌山 代表
- 株式会社ウィンテオ 取締役

幸前そら
公式サイト



令和8年8月9日執行

和歌山市長選挙

選挙公報

和歌山市選挙管理委員会

(この公報は、候補者からの原稿そのままを写真製版して印刷したもので、掲載の順序は、くじにより定められたものです。)



あきひろ
かたぎり章浩



未来のために、
今できることを。

- ① 若者が働ける、住みたくなる和歌山市
- ② 高齢者、障がい者も住みやすい和歌山市
- ③ 命を護り災害に強い和歌山市
- ④ 子育て世帯を支援する和歌山市
- ⑤ 訪れたくなる和歌山市

**現市政継承と活性化を
めざしているかたぎり章浩さんを
応援しています。**



井護士 田辺 善彦
かたぎり章浩後援会の会長でもあり尾花市長の後援会長も務める井護士の田辺善彦です。これまでの和歌山市政を継承しつつ、視点を変えて未来のために、今できることをやってくれるのは片桐さん。和歌山市を片桐さんに託してください。是非和歌山市長にようしくをお願いします。



ふみこ農園 会長 成戸 文字
片桐さんと知り合ったのはもう10年以上前になります。人柄はもちろん地元愛を持って和歌山の産品を県外に展開するお手伝いをしていただきました。実行力があって一次産業から六次産業まで幅広く知識も経験も豊富な片桐さんに市長になっていただきたい。



拓殖大学柔道師範柔道八段 正木 照夫
私と片桐さんは柔道つながり。片桐さんは中学校時代に柔道部に所属され道場にて汗を流しておられました。スポーツ大好きな片桐さんはスポーツ振興にも尽力されており、市長になって和歌山市の活性化の為に和歌山にプロスポーツを定着させていただけると嬉しいです。

視点を变える 和歌山が変わる

県施策として 実施した事例

- JAXAスペースイヤーチャーズ和歌山の結成と宇宙教育の実施
 - 宇宙に最も近い和歌山県を掲げロケット発射場を誘致
 - スケートボード練習場の設置
 - 学校教育における薬物乱用防止教育
 - 和歌山南スマートインターチェンジの新設を提案
- これは単なるインターネット上での企画にとどまらず、「交通」「防災」「物流」「企業誘致」「都市計画」を体で考えた地域づくりを提言。

プロフィール
片桐章浩（かたぎり あきひろ） 1961年和歌山市和歌浦生まれ
宮前小学校・東和中学校卒業、向陽高等学校卒業、和歌山大学経済学部経済学科卒業
和歌山大学院経済学研究科（経営学専攻）修了
平成15年4月、和歌山市議会議員に初当選。
平成19年4月、和歌山県議会議員に初当選。現在5期目。

…たくさんの笑顔で和歌山市を元気に…



市長候補
おざき太郎
たろう

ご挨拶

市議・県議として27年間地方政治に携わって参りました。
この経験を活かしたくさんの笑顔がふれる和歌山市を創って参ります。

おざき太郎の提言

- ① 地域産業振興プロジェクト
化学、木工、繊維といった地場産業を活性化して雇用を創出し、所得を増やします。魅力ある地元産品を生み出し、ふるさと納税を倍増します。
- ② きれいな内川と日本二の干潟の再生
市民の憩いの場となり、観光客も楽しめる水辺をつくりまします。日本一の干潟で潮干狩り、ラムサール条約登録を目指します。
- ③ 高齢者モビリティの導入と地域支えあいネットワーク
公共交通を補完する移動手段を整備し、高齢者の外出機会を確保します。地元企業、行政、福祉サービス、地域コミュニティが連携し、支えあいの仕組みづくりを進めます。
- ④ 地産地消で健康生活・農林水産業を活性化
学校給食にはできるだけ低農薬の食材・地元産を使います。循環型農業をすすめて、耕作放棄地の解消をはかります。
- ⑤ 女性の活躍を支援するまちづくり
女性が安心して働き、子育てし家族を守ることができる環境づくりを進めます。子育て支援制度の利用促進、就労再就職支援、仕事と家庭の両立支援、ひとり親家庭支援、女性支援対策室の設置などに取り組みます。

プロフィール PROFILE

昭和40年7月27日 和歌山市生まれ
砂山小学校、西和中学校
桐蔭高校、学習院大学法学部卒業
野村證券株式会社勤務を経て
平成11年和歌山市議会議員に初当選
平成15年和歌山県議会議員に初当選
以来6期連続当選
平成26年和歌山県議会副議長
平成29年和歌山県議会議長
自由民主党青年局中央常任委員会議長
(平成18年10月～平成22年10月)
〈主な役職〉
和歌山県体操協会会長
新しい歴史教科書をつくる会和歌山支部長
和歌山拉致議連事務局長
防衛協合理事
自由民主党和歌山県支部連合会総務会長
ホームヘルパー2級

芝本かずき 5つの約束

まるごと、地産地消 和歌山市にあるものを、 つなぎ、循環させて、活かしきる。



和歌山市長候補
芝本かずき
社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・防災士
令和7年6月、令和8年6月度 第九十一代和歌山市議長
1968年生まれ五十八歳、和歌山市出身、和歌山市育ち

市議会議員
六期23年の
経験、実績！

文

1 文化・市民参加
文化は、この街にもうある

- 誰もが参加できる「市民総合文化まつり」の開催
- 市民の「やってみたい」をつなぐマッチングシステムと文化総合コンシェルジュ（なんでも相談員）の配置
- 地域の物語や人物などの文化資源を学校教育・地域活動につなぎ、この街への誇りと愛着を育む

育

2 教育・子育て
この街で育った人が、この街を育てる

- 次世代リーダー育成制度と、若者の居場所づくり
- インクルーシブ教育と早期療育、親なきあとの支援体制の構築途切れしないサポート体制
- 不登校の子どもを含む、多様な学びの場づくり

知

3 地域経済・まちづくり
地域の予算は、地域でまわす

- BUYローカルの推進 地域の予算は、域内流通を基本に地場産業へ
- まずは全国シェア約4割「ニッポン産業×和歌山市」から、地場産業・偉人・歴史・食・文化・スポーツの各分野ブランディングへ
- 地産地消のエネルギー政策と、GX産業の育成

仁

4 福祉・支援
支援を、途切れさせない

- 保育士・看護師・介護従事者 - 現場を離れた方の復帰を支える「助走期間」を市内施設に -
- 市民大学のフルリニューアルで、健康寿命をのばす
- 難病・透析の方々への支援と、有事にも途切れしない近隣市町村の連携

勇

5 行政改革・行動
現場の声が、いちばんの支援

- 行政・財政の「見える化」と、AI・DX・地場産業との公民連携
- ふるさと納税・寄付が「支援したい先」へ確実に届く、基金条例の見直し
- 職員とのランチミーティングを定例化現場の声を聴く市政